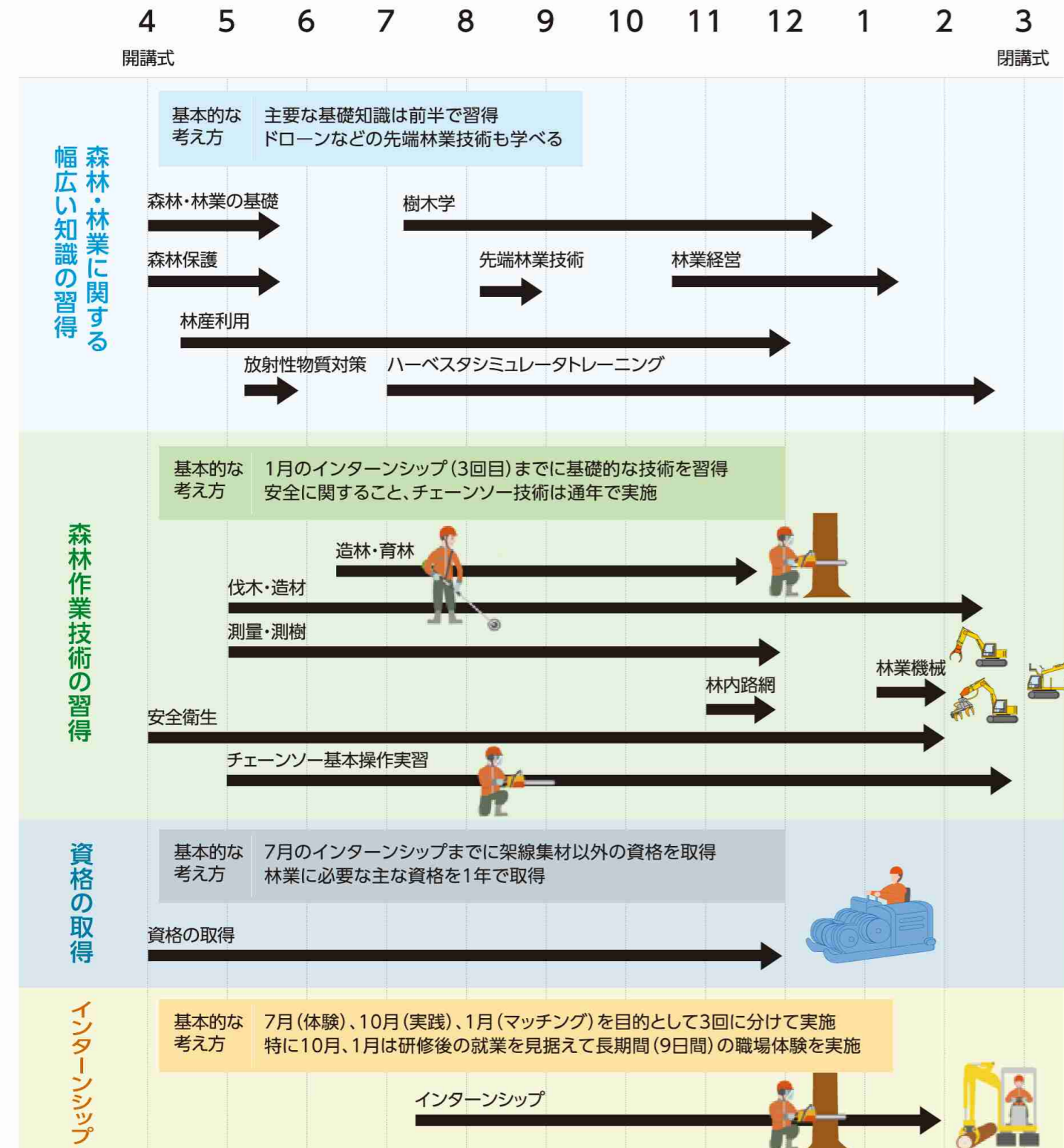


林業アカデミーふくしま 長期研修カリキュラム

1年間という限られた時間の中で効率よく適格なカリキュラムで林業の基礎を学んでいただきます。



基本的な考え方(共通)

- 「安全」を最優先としたカリキュラム(各研修には原則教務担当職員が同行・補助)
- 「適期」の研修を実施するとともに、各研修の「つながり」を意識
- 「自己啓発」(自主学習)の時間を設け、研修生の主体的な学習を促進

林業アカデミーふくしま研修施設

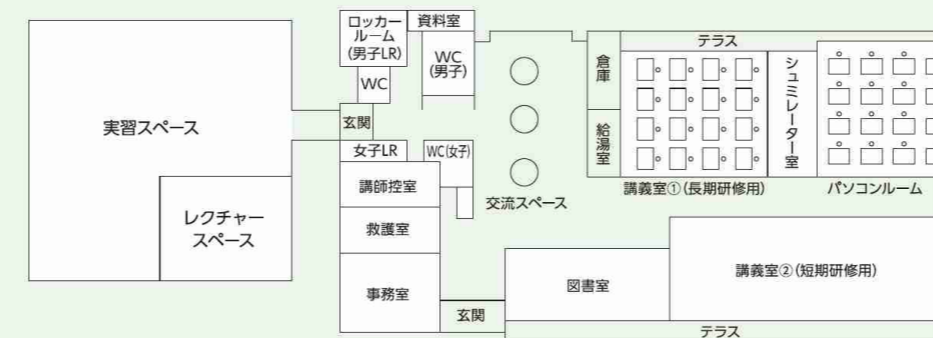
2022年8月完成

福島県産材を使用した、先端林業技術の学び舎が福島県に誕生します。



※研修施設イメージ図

施設平面図



アクセスマップ

林業アカデミーふくしま研修施設(林業研究センター内)
〒963-0112 福島県郡山市安積町成田西島坂1
TEL024-945-5974(5975)



🚗 JR郡山駅から車で約20分
郡山南I.C.から車で約10分

🚗 JR郡山駅からは福島交通(長沼行) 木工団地入口下車~徒歩10分

お問い合わせ
相談窓口

福島県林業研究センター
〒963-0112 郡山市安積町成田西島坂1
TEL 024-945-5974・5975 FAX 024-945-2147
E-mail forestry.rc@pref.fukushima.lg.jp

それは未来を
つくる人。
そまびと
杉人

Forestry Academy Fukushima
林業アカデミーふくしま
2023
就業前長期研修第二期生募集

福島県

令和3年度に福島県で杉人となった小室さん
杉人とは「林業従事者」を指す言葉



森の明日を紡ぐのはあなたです

森林は地球温暖化防止や土砂災害防止、水源かん養など様々な公益的機能を持ち、人々に広く恩恵を与えてくれます。
また、福島県内の人工林の半数以上は50年生以上となり資源が充実し収穫期を迎えています。今後、公益的機能を維持しつつ資源活用を行うために適切な森林資源の管理が必要です。これからは「植林→育林→伐採→植林」の循環型林業の推進が求められています。
林業アカデミーふくしまでは、福島の森林の未来を託す仙人(そまびと)の育成をスタートします。
※仙人(そまびと)は林業従事者を指しています。



充実した講師陣!

大学の教員や試験研究機関の研究員、各界で活躍されている外部有識者により、最新の専門知識や技術が学べます。また、現場での機械操作や作業のノウハウなどは、県内外のプロフェッショナルにより技能・技術が学べます。

先端林業技術を学ぼう!

ドローンの操作や撮影画像の活用、3Dレーザースキャナによる森林調査、森林GIS等による森林情報の把握など、ICTを活用した先端林業技術が学べるほか、高性能林業機械の操作技術が学べます。



研修内容

就業前長期研修

2023年4月開講

受講条件 次の2つの条件を全て満たす者
①高等学校卒業または同等以上の学力を持った者
②福島県内の林業事業体に就業希望がある者

募集定員 15名程度

研修期間 1年間(令和5年4月～令和6年3月)
1日7時限(1時限50分)×215日=1,500時限程度

受講手数料 118,800円
県立高校授業料相当額 徴収予定
※別途作業服、テキスト代
傷害保険等の費用が必要となります。
(1年間で約15万円程度)

こんな資格が
取得できます!

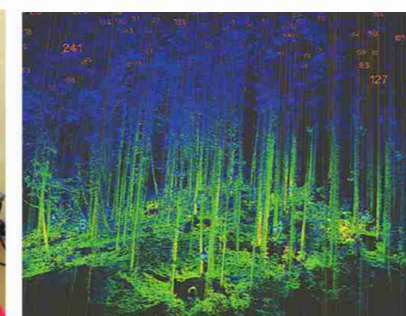
- 刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育
- 玉掛技能講習
- 伐木等の業務に係る特別教育
- 不整地運搬車運転技能講習
- 林業架線作業主任者免許規程に定められた講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習
- 高性能林業機械等の運転の業務に係る特別教育
- その他必要な資格

最新の林業機械・機器、訓練装置を導入し、実践力を有する林業従事者を育成!

- 最新の林業機械** ●ハーベスタ、フォワーダ、グラップル付バックホウ
最新の林業機械を使用した実技研修
●ハーベスタシミュレーターによる林業機械の模擬練習
- 各種訓練装置** ●伐倒反復訓練装置、風倒木伐倒訓練装置、
枝払い訓練装置、キップバック装置の設備を
活用した反復訓練
- 架線集材機械** ●全国的にも珍しい架線集材機械の操作実習
- 最新ICT機器** ●操作訓練用ドローン、森林3次元計測システム「OWL」、
路網設計支援ソフト「FRD」の導入等



ハーベスタシミュレーター



森林3次元計測システム「OWL」

2023 林業アカデミーふくしま 就業前長期研修第二期生募集

研修講座概要

- 苗木の植栽から保育、木材の搬出利用まで幅広い知識と技術の習得
- 森林施業に必要な資格の取得及び現場作業を安全・確実に実施するための技能の習得
- インターンシップ等を通じた知識・技能・技術の向上

カリキュラム

研修講座は4つの柱で構成。実践力を身に付けるための実習を中心に、福島県の実情や将来性を踏まえたカリキュラム。

- 森林・林業に関する幅広い「知識」の習得
- 森林施業「技術」の習得
- 「資格」の習得
- 「インターンシップ」の実施

緑の青年就業準備給付金制度

安心して研修に専念できるための給付金支援制度があります。

制度の目的

研修終了後1年以内に林業分野に就業し、その中核を担うことに強い意志を持っている方への国の給付金制度です。

給付金制度(上限額)

年間142万円
※受給希望者の数により、上限額とならない場合があります。

- 研修受講後の就業予定時の年齢が45歳未満であること
- 適切に研修を受講すること(すべての研修課程を受講すること)
- 研修受講時、常用雇用の契約を締結していないこと
- 原則として生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付等を受けていないこと
- 過去に本給付金の給付を受けていないこと
- 研修終了後1年以内に林業分野に就業し、2年間以上継続して従事すること
※就業にあたり、雇用主との常用雇用の雇用契約締結が必要
※林業分野に就業:県内の森林組合・林業事業者等への就業
- 研修中には研修状況報告を2回、就業後5年間は就業状況報告を年2回行うこと

給付金の返還

給付金の受給後に上記3に規定する項目が遵守されない場合は、原則として給付金の返還が必要となります。

インターンシップ

林業アカデミーふくしまでは林業技術の習得だけではなく、インターンシップを行い、林業事業者の仕事を経験し、林業への理解を深めるとともに働くイメージを構築します。

インターンシップは3期に分け、計21日間の研修が行われます。実際の林業事業者での就業を経験し、林業で働くイメージを養います。



林業の現場を学ぶための実習フィールドを準備。より実践的な技術を学ぶことができます。



実習フィールド

実習フィールド	アカデミーからの移動時間	面積	所有形態	主な実習内容
妙見山実習フィールド 郡山市三穂田町下守屋 妙見山国有林201林班	約20分	99.00ha	国有林	・樹木学 ・測量、測樹 ・下刈り、除伐 等
塙町実習フィールド 東白川郡塙町大字湯崎字関場1番地1	約1時間40分	54.10ha	塙町	・樹木学 ・伐木、造材 ・測量、測樹・林業機械 ・造林、育林・架線集材 等

相談窓口

「林業アカデミーふくしま」に関する疑問や質問など電話やメールにてお気軽にお問い合わせください。

- 研修生の募集スケジュールは?
- どんなことが学べるのか?
- 支援制度はあるのか?
- 研修後の就職先は?

TEL 024-945-5974・5975

メール foresty.rc@pref.fukushima.lg.jp



R3ポスター

つくる人。
それは未来を
つくる人。
それは未来を

Forestry Academy Fukushima

林業アカデミーふくしま

2023

就業前長期研修第二期生募集

福島県

令和3年度に福島県で杣人となった小室さん
杣人とは、「林業従事者」を指す言葉



R3ノベルティグッズ(クリアファイル)

Forestry Academy Fukushima

林業アカデミーふくしま

2023

就業前長期研修第二期生募集



福島県